2007年度　生殖機能・妊娠分娩系Ⅰ

2007年11月19日実施

1. ＜海野先生＞

　　臍帯と胎盤の関係がわかるように、下記の事柄がわかるように、模式図をかけ。

1. 臍帯
2. 羊膜
3. 臍静脈
4. 臍動脈
5. 絨毛
6. 絨毛血管
7. 絨毛間腔
8. 子宮間膜動脈
9. 子宮間膜静脈
10. 脱落膜

（皆川担当）

1. ＜川内先生＞
	1. エストロゲンの合成過程でLHによって促進されるのは（　）であり、抑制されるのは（　）である。FSHによって促進されるのは（　）であり、莢膜細胞内で行われる過程は（　）である。顆粒膜細胞内で行われる過程は（　）である。

（a～gから選びなさい）

　　 コレステロール

　　　　　 ↓a

　　 プレグネノロン　　　 →　プロゲステロン

　　　　　 ↓b　　　　　　　　 ↓c

 17α-(OH)-プレグネノロン 　 → 17α-(OH)-プロゲステロン

　　　　　 ↓d　　　　　　 　　 ↓e

　　デヒドロエピアンドロステロン → アンドロステンジオン →　テストステロン

　　　　　　　　　 ↓f　　　　　　　　　　↓g

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 エストロン　　→　 エストラジオール

* 1. 受精が行われるのは（　）であり、卵管の長さは（　）cmである。この中を受精卵は約（　）日かけて進み、子宮腔に達した時には（　）となっている。受精から約（　）日後に着床を始め、そのときの胚は（　）になっている。着床が完了するのは約（　）日後である。
	2. 二次性徴のうち最も早く見られるのは（　）であり、その際下垂体から（　）が放出される。少量では（　）が増大し、多量では（　）の閉鎖が起こる。
	3. 卵細胞が200万個から劇的に減少することを（　）という。

（山下担当）

1. ＜角田先生＞

　　女性性器出血の原因のうち、腫瘍性が原因のものを答えよ。

（中村担当）

1. ＜酒井先生＞

　　子宮の模式図を用いて、月経の機序を述べよ。

（行徳担当）

1. ＜宗先生＞

男性不妊症の原因の１つに、性染色体異常がある。47XXYの（1）や46XY女性や46XX男性の（2）などがある。（1）では血中の（3）が上昇している。身体的特徴は（4）で精巣は（5）している。

選択群

1. ターナー症候群
2. クラインフェルター症候群
3. 仮性半陰陽
4. 真性半陰陽
5. FSH
6. LH
7. テストステロン
8. エストロゲン
9. 低身長
10. 肥満
11. 高身長
12. 肥大
13. 萎縮

（松島担当）

1. ＜渡辺先生＞
	1. 子宮内膜癌（類内膜腺癌）の病因として、考えられていることを、述べよ。
	2. それを支持している。事柄を5つ述べよ。

（吉田担当）